

課題別ワーキンググループ設置

人が主役の スマートで安寧な 社会の創出



- 会員は興味関心のあるWGに参加可能 (※複数可)
- WG内で様々なプロジェクトを立ち上げ可能
- 必要に応じて、実証実験や補助金獲得を支援
- 事業開発に向け、他企業や自治体、研究機関等とのアライアンス創出を支援
- 各WGの活動は報告会などを実施しビジネスマッチング機会を提供

<目指すところ>

観光産業・サービス産業の活性化と高度化を図り、スマート観光のモデルづくりを目指すため、ICTによる観光客の利便性の向上や周遊観光促進、新たな視点からの観光マーケティング・商品開発等を検討する。

こんな課題を解決したい

- 一極に集中する観光客を分散させ、府域に周遊させたい
- 観光客の行動を分析し、お勧めの観光ルートや商品を提案したい
- まだ京都府に来ていないターゲット層の心を動かすマーケティングをしたい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- AR技術を活用した府域のスタンプラリー観光
- 地域商店街と連携し、キャッシュレス普及促進
- インバウンドにターゲットを絞り、旅行滞在データ（基地局）やSNSデータの分析から訴求スポット・モデルコースを提示

⋮

本日のスマート観光WGの進め方

① 京都スマートシティ推進協議会創出事例の紹介（15分）

（株）綿善から令和元年度企業の森・産学の森推進事業採択事例の共有

② 課題の共有（35分）

観光分野の企業・団体から課題を提供

（京都府政策企画部企画参事、（株）京都プラザホテルズ、エムケイ（株））

③ 課題別ディスカッション（60分）

（1）本日の講演に関連するテーマを設定し、5つのグループを編成

（府域観光周遊、観光データ分析、インバウンド誘客、ホテル観光課題、タクシー観光課題）

（2）事前に事務局で参加者の業種に関連するグループに振り分け

（3）各グループでディスカッション（事務局からファシリテーター1名）

＜本日のゴール＞

テーマ対して、参加者の知見やシーズを持ち寄り、新しいアイデアを提案

（4）グループ発表（※議論の内容を簡単に共有） } 7分

（5）講評 } 3分

50分

京都ビッグデータ活用プラットフォームの 支援スキーム

ステップ1

京都ビッグデータ
活用プラットフォーム



情報収集/
ネットワーキング

ステップ2

課題別ワーキング
グループ(WG)



課題とシーズ
の共有

今日ココ

ステップ3

個別プロジェクト活動



個別具体的に
プロジェクト化

イノベーション創出
社会課題の解決
新規ビジネス創出

- ①後日、課題別WGの参加企業に対して、WG内で共有された課題や提案を基に、事業参画・連携を希望するか、もしくはさらなる意見交換を希望するか別途照会。（個別企業等とのマッチング希望も照会）
- ②必要に応じて、コアなメンバーで個別プロジェクトを組成し、関係者とのミーティングの設定や事業創出をサポート。